

令和 3 年度における地域医療介護総合確保基金について

1 基本的な考え方について

急速な高齢化の進行とともに、人口減少時代を迎え、社会構造の多様化・複雑化が進む中、医療・介護を取り巻く環境が大きく変わりつつあり、できる限り住み慣れた地域で、誰もが安心して生活できる環境の整備が求められています。特に、団塊の世代が 75 歳以上を迎える 2025 年（令和 7 年）を視野に、地域にふさわしいバランスのとれた医療機能の分化・連携を適切に推進する必要があります。

これらに対する必要な取組を実施するため、国においては、平成 26 年度に「医療介護総合確保推進法」が成立し、当該法律に基づき「地域における医療及び介護を総合的に確保するための基本的な方針」を定めています。

これにより、都道府県においては、都道府県計画を作成し、地域医療介護総合確保基金を活用して、下記の事業を実施しています。

地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備に関する事業

-2 地域医療構想の達成に向けた病床数又は病床の機能の変更に関する事業

居宅等における医療の提供に関する事業

介護施設等の整備に関する事業

医療従事者の確保に関する事業

介護従事者の確保に関する事業

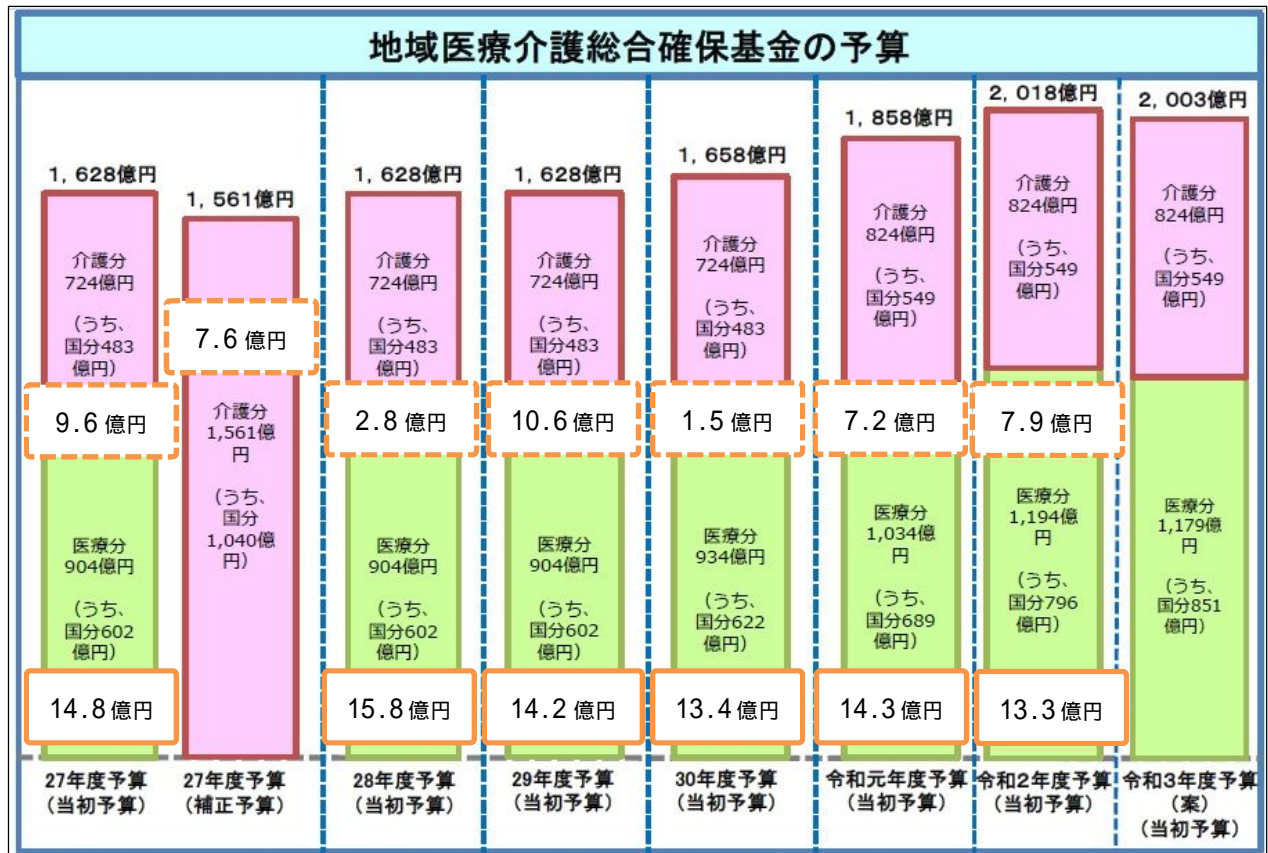
勤務医の労働時間短縮に向けた体制の整備に関する事業

医療分 、 、 は平成 26 年度から、介護分 、 は平成 27 年度から、医療分 は令和 2 年度から、医療分 -2 は令和 3 年度から実施。

三重県においては、平成 29 年 3 月に策定した「三重県地域医療構想」のほか、平成 30 年度からスタートし令和 2 年度に中間見直しを行う「第 7 次三重県医療計画」、令和 3 年度開始予定の「みえ高齢者元気・かがやきプラン」（第 8 期三重県介護保険事業支援計画・第 9 次三重県高齢者福祉計画）等に基づき、医療と介護の一層の連携を図りながら、急性期から回復期、在宅に至るまでの、地域ごとの効率的かつ質の高い医療提供体制の構築や地域包括ケアシステムの深化・推進に向けた取組を引き続き進めます。

また、令和元年度に策定した「三重県医師確保計画」に基づき、医師の確保と偏在是正に取り組むほか、退職を控えた方や外国人人材などの介護分野への参入促進に向けた取組を行うなど、課題となっている医療・介護分野の人材不足の解消に向けて、引き続き確保対策を進めます。さらに、医療と介護の提供体制を整備し、高齢化の進展に伴って増え続ける認知症の早期発見・早期治療のための支援体制の整備に取り組みます。

【国予算の推移】



は本県への医療分の配分額、
 は介護分の配分額

2 厚生労働省の令和3年度配分方針
まだ提示されていません。